

奈良市自治連合会だより

第31号

発行 「奈良市自治連合会
だより」編集委員
発行部数 13,000部

地域の活性化を目指し

—令和4年度奈良市自治連合会総会—

令和4年5月18日(水)、はぐくみセンター9階大講教室にて奈良市自治連合会総会を開催しました。

冒頭、奈良市自治連合会 作間会長は挨拶の中で、「各地区が地域を楽しく活性化することを一番の目的とし、市自治連合会もその集合体として取り組むべきことにはしっかりと取り組みつつ、楽しく1年間を過ごせたらと思っている」と話を締めくくりました。

会員総数49名のうち出席者47名(オンライン参加1名含む)、欠席者2名。構成員の過半数以上の出席となり、奈良市自治連合会会則第6条の規定により本会議が成立するとの報告があり、審議に入りました。

初めに令和3年度事業報告及び決算報告並びに監査報告がなされ、それぞれ満場一致で承認されました。

次に令和4年度の役員紹介と承認、監査の選出議案が出され、全員異議なく可決承認されました。(別掲市自治連合会会長名簿参照)

続いて令和4年度の事業計画案及び予算案が提案され、原案通りに承認可決されました。

《重点方針と事業計画》

- 「地域自治協議会」の設立及び推進へ、諸施策の促進
- 「地域自治協議会検討委員会」の開催
- 検討委員会委員による市議会議員との対話活動
- 各地区への支援及び設立への機運醸成策の促進
- 奈良市自治連合会の運営改善
- 役員分掌業務の明確化と活性化
- ブロック会議の推進と課題の共有
- 各種専門部会の設置と取り組み事項のレベルアップ
- 新任自治会長研修等の開催
- 奈良県自治連合会に参画、広域的な取り組み
- イコールパートナーとしての参画と協働
- 行政が抱える全市的な重点課題に対する取り組み
- 「地域ミーティング」の開催
- 各種審議会への参画と情報共有
- 専門部会と行政の担当部署との合同会議の開催

地域づくりは人づくり

奈良市自治連合会会長 作間 泉



平素は奈良市自治連合会の活動にご協力とご理解をいただき誠にありがとうございます。

この度、総会にて2年目の奈良市自治連合会会長を拝命いたしました作間でございます。

今年度のコンセプトは『地域づくりは人づくり』とし、地域活動において仲間づくりをすることで自治会活動が少しでも活動しやすくなり、かつ楽しくでき、地域の活性化につながっていくと思っています。コロナ禍において、なかなか思うように活動が

できませんが、「できない」ではなく、「できる方法をみんなで考えてやってみる」ことが大切だと思います。

奈良市自治連合会も、地域活動・自治会活動における課題や必要なことに耳を傾け、一緒に考え、解決に導くためしっかりと体制を整えて取り組んでいきたいと思っています。

また、新しい地域づくりとして、「地域自治協議会」の設立促進にも力を入れていきたいと思っております。それぞれの地域で団体・自治会・住民等の垣根を取り払うことにより、オール地域であらゆる分野の課題解決が迅速になり、情報共有することで業務の見える化、簡素化、役割の明文化ができ、地域の業務負担軽減にもつながります。ぜひ、前向きにご検討していただければと思います！

明るい未来を今のうちに築くため、みなさまのご協力とご指導・ご鞭撻を引き続きお願い申し上げます。

『自治会活動の手引き』 令和4年度版

奈良市自治連合会では、自治会活動の指針となるものとして、今年も「自治会活動の手引き」を発行し、市内全自治会に配布させていただきました。

今後も、よりよい手引きを作成していきますので、ご意見などございましたら地区自治連合会長を

通してお寄せください。「自治会活動の手引き」は、自治会交付金や届出について等、自治会に関する情報とともに奈良市公式ホームページに掲載されています。

[自治会の活動を行われている方へ奈良市](#)で検索

今年度の
表紙は水色

地域課題の解決に正面から向き合う

地域活動に伴う課題のまとめ

奈良市自治連合会だより前号では、地域の取り組み事例を紹介いたしました。

本紙では、地域活動に伴う課題や必要なことにスポットを当て、多くの地域課題に優先順位をつけ解決方法を協議していきたいと思います。

【特に至急対策が必要と思われる事項】

- 1 自治会会員数減少原因の洗い出し → 何が必要で、何が悪いのか。しっかり検証。
(奈良市自治連合会、地区自治連合会、地区単位自治会協働で)
- 2 役員の担い手不足 → 高齢化だけが原因なのか？ 原因を徹底的に解明する。
(地区自治連合会、単位自治会で協議し、奈良市自治連合会に報告→対策協議)
- 3 新たな人材の発掘 → 将来を見据えた地域の在り方を考えると必須事項。
(奈良市自治連合会、地区自治連合会、単位自治会、専門家の意見協働で)

【並行して継続的に対策を協議していく事項】

- 1 活動拠点の整備 → 地域を特定して奈良市との協議。
- 2 買い物や通院の足(交通)の問題 → 福祉部と交渉、その他関係部署と協議。
- 3 空き家対策 → 都市整備部等、関係部署と協議。
- 4 福祉・防災防犯に関する事項多数あり 順次取り上げ検討する。



これはほんの一例であり、たくさんの頂いた課題をできる限り取り上げていき、地域の皆様と共に協議していきたいと思います。

令和4年度 奈良市自治連合会 会員名簿

ブロック	地区名	会長名	役職名	ブロック	地区名	会長名	役職名
中部Ⅰ (5地区)	飛鳥	久保 英雄	副会長	西北部Ⅰ (4地区)	登美ヶ丘	武智 一記	監事
	済美	池口 光隆	副会長・ブロック長		東登美ヶ丘	河野 良彦	ブロック長
	済美南	長谷川憲二	事務局長		平城西	岸 徹	
	鼓阪	平野 康隆			鶴舞	階戸 幸一	
	佐保	岡崎 忠直			二名	戸村 義弘	ブロック長・監事
中部Ⅱ (4地区)	椿井	尾形季久雄		西北部Ⅱ (4地区)	青和	日夏寛次郎	
	大宮	吉岡 正志	相談役・※		富雄	大谷 廣信	
	佐保川	金野 秀一	副会長・ブロック長		鳥見	村澤 實	
南部 (6地区)	大安寺西	古谷 頼和		東部 (6地区)	田原	北森 雅人	
	東市	南浦 貴			柳生	中窪 忠司	
	明治	野口 隆身	会計		大柳生	杉田 知己	
	辰市	土井 実	ブロック長		東里	東浦 和男	副会長
	帯解	六十谷 進			狭川	大南 善英	ブロック長
	精華	吉崎 弘俊			月ヶ瀬	紙家 光郎	
西南部Ⅰ (7地区)	大安寺	市川 恵一		北部 (5地区)	神功	浅岡 順	
	伏見	山口 誠			右京	中嶋 一樹	
	伏見南	白井 優人			朱雀	作間 泉	会長・ブロック長
	西大寺北	坂本 章弘			左京	田中 明	
	六条校区	河月 滋男	副会長・ブロック長	佐保台	川本 了造		
	あやめ池	三浦 健二		都祁 (4地区)	並松	植田 潔	
	都跡	堂上 健次			吐山	神田 樹里	
平城	井村 誠之		都祁		笠谷 精文		
西南部Ⅱ (4地区)	学園南	温井 久男		六郷	向井 敏之	ブロック長	
	富雄南	上谷 勝		(大安寺西)	梅林 聡介	相談役	
	奈良帝塚山	小嶋 勉					
	学園三碓	浜崎 純一	ブロック長				

※ 地域自治協議会検討委員会委員長
令和4年9月現在

令和4年度各専門部会で取り上げるテーマ

奈良市自治連合会では、毎月定例会の中で3つの専門部会を順に開催し、取り組み事項のレベルアップを図っています。

<地域学校支援部会>

今年度、地域学校支援部会では取り上げるテーマについて、連合会長の皆さまのご意見・ご要望をお聞かせいただき、関心が高い以下のテーマで取り組むことにいたしました。

- ① 地域教育協議会と学校運営協議会について
- ② 通学路の安全確保（学童見守りに助成金を）
- ③ 教職員の働き方改革と地域の関わりについて



市役所正庁での地域学校支援部会



はぐくみセンター大講座室での地域福祉推進部会

<地域福祉推進部会>

高齢者、子ども、障害者対策など福祉の範囲は広いので奈良市の政策の紹介を中心に今年は取り組んでいきたいと思えます。

- ① 子どもセンターについて
- ② 奈良市第4次地域福祉計画について
- ③ 福祉部としての避難行動要支援者の体制について

<地域防災防犯部会>

地域防災力を高め災害に強いまちづくりを目指します。

- ① 令和4年度奈良市総合防災訓練について
- ② 令和4年度奈良市総合防災訓練ふりかえり
- ③ 地域防災防犯リーダー研修について



総合福祉センターでの地域防災防犯部会

意識改革と新しい取り組みを

奈良県自治連合会会長 梅林 聡介

今年度、奈良県自治連合会会長に就任することになりました梅林でございます。

令和元年5月に奈良市自治連合会が奈良県自治連合会に加入して4年が経過しますが、昨今人口減少化、少子高齢化、コロナ禍等でライフスタイルの多様化が背景にあることも重なり、自治会加入率の低下、役員の高齢化等で次の担い手が見つからない状況にある事に危惧しております。

これらの課題を解決するために「新しいまちづくり」が必要となってまいりました。

そこで、奈良県が提唱する「奈良新『都』づくり戦略」のような新しい試みを考えていかなければと思えます。

また、市自治連合会では、「奈良市市民参画及び協働によるまちづくり条例」に基づき、地区自治連合会だけでなく、地区社会福祉協議会や民生児童委



県自治連合会総会で挨拶をする梅林会長（右から3人目）

員協議会、自主防災防犯組織、ボランティア・NPOなど、地域にある多様な主体が連携し、地域住民が課題を解決する「地域自治協議会」づくりに取り組んでいますが、県自治連合会においても、このような組織づくりを推進していくことが必要であると考えます。

そして、防災防犯活動で地域住民が集まった防災会議などで広域の連携を図りながら県と協議し、県自治連合会の中で防災防犯部会を作っていきたいと思えます。

任期期間中、県自治連合会が地域課題を抽出し、県を協働パートナーとして諸問題に取り組んでいき、足腰の強い自立した県自治連合会とし、各種の意識改革や新しい取り組みに努めてまいりますので、どうぞよろしく願います。

わがまち自慢



若い街を若い力で活性化

登美ヶ丘地区自治連合会

登美ヶ丘地区と地区自治連合会の動き

登美ヶ丘地区自治連合会は、奈良市の自治連合会において最も新しく加入し、かつ平成28年に再結成された若い連合会です。

地区の特色としては人口減少や少子高齢化が叫ばれる中であっても人口は増加、住民の平均年齢も低下しています。



町のシンボル

また、奈良市において有数の文教エリアのため、若い方々の引っ越しも多く町そのものにも活気があるといえます。

しかし、他の地区

においてもみられるように、若い夫婦ましてや集合住宅にお住まいの方が多い所では、地域に積極的に係わらない傾向が顕著に表れていると思います。その中において如何に町を一つにし、お互いの顔が見えるようにするか。

登美ヶ丘地区の取り組み

まず町の4つの団体（連合・自主防・民生・地区社協）がお互いの活動を助け合うことから始めています。昨年は地区社会福祉協議会が中心となって、中登美近隣公園で第1回目のワイワイフェスタを開催しました。

そして今年、

- ① 町のシンボルをつくり、子どもたちに名前を考えてもらいます。
- ② 第2回ワイワイフェスタでは防災意識を高めて頂くために防災キャラバン号に来てもらいます。
- ③ 広報誌・ホームページで住民の皆様へ今の登美ヶ丘地区を知っていただきます。
- ④ 市の担当職員並びに機関と共に積極的な町の一体化に取り組みます。

時間はかかります。

自然と活力が調和した都祁 地域づくりを目指して！

都祁(並松・吐山・都祁・六郷)ブロック

都祁地域は、面積約4.4km²、市の南東部に位置し、大和高原の中央部で平均標高470mの中山間地です。名阪国道と国道369号線が交差する針インターに隣接する道の駅「針テラス」は、旅・観光の拠点として多くの人が楽しめるスポットになっています。

また、夏は涼しく、冬は寒さが厳しいこの地域は、澄み切った空気やホタルがみられる清川、ミネラル豊富な土壌など、豊かな自然に恵まれており、この都祁の地で育ったお米は非常においしいです。是非、故郷に帰ってきたような、自然豊かな都祁へお越しください。

しかし、この素晴らしい都祁にも多くの課題があります。人口減少やコミュニティの低下など地域住民を取り巻く環境は著しく変化し、複雑化しています。多くの課題に向き合いながら、都祁の良さを伸ば

すため、昨年度は、都祁交流センター30周年記念事業を地域住民が一体となって実施することができました。また、立地の良さを活用し企業誘致や雇用創出等、地域活性化に向けての取り組みも動きだしました。

都祁の良さを生かしながら奈良市の歴史に彩りを添えられるよう、都祁地域の28自治会、そして連合会、都祁まちづくり協議会等の各団体の皆様と、支えあう心や郷土愛の心、合意と協力を忘れず、頑張っています。



旅と観光の拠点、道の駅「針テラス」

編集 後記

私の地区では、地域の方々の協力の下、「夏休み済南子どもまつり」を開催。済美南小学生数を大きく上回る600名超の参加をいただき、久しぶりに子どもたちのはじける笑顔があふれる催しとなりました。新型コロナの影響で各種行事が中止に追い込まれる中、改めて地域協働の重要性を再認識。安全・安心に留意し活動を進めていきましょう。 (編集委員長 長谷川 憲二)